

新型コロナウイルスは未だに収束の兆しが見えない中、感染対策、経済対策等引き続き市民の皆様のお声に耳を傾けながら対応してまいります。今回は、所属する常任委員会の都市整備委員会において地域の課題を取り上げましたのでご報告します。引き続き、地域課題に向き合い、解決のために声をあげて取り組んでまいります。

浸水対策について

3月8日 予算等審査特別委員会

質問要旨

- 問① 令和3年度の浸水対策予算と直近の予算との比較について。
- 問② 浸水対策はリスクの高い地域から優先的に整備を行うべきではないか。
- 問③ 福室、高砂、白鳥地区の冠水対策である西原雨水ポンプ場の増設はいつ完了するのか。
- 問④ 栄地区についての冠水対応はどうするのか。
- 問⑤ 田子、仙石、福住町に対する冠水対策の進捗がないのではないかと。
- 問⑥ 大胆な予算措置を期待していたがこの程度で大丈夫なのか。



答弁要旨

- 答① 令和3年度の予算は直近と比較してプラス約2億円から3億円の増加とした。
- 答② 令和3年度中に優先的に整備を行う地区の計画の策定や設計に着手する。
- 答③ 増設整備中の西原雨水ポンプ場は令和3年度に土木工事に着手し、整備を令和9年度まで完了させる予定。
- 答④ 栄地区については道路側溝の整備等を行う。
- 答⑤ 田子、仙石、福住町の浸水被害軽減に向け検討を進める。
- 答⑥ 組織横断的に取り組むための予算を新たに増設しており連携して取り組んでいく。

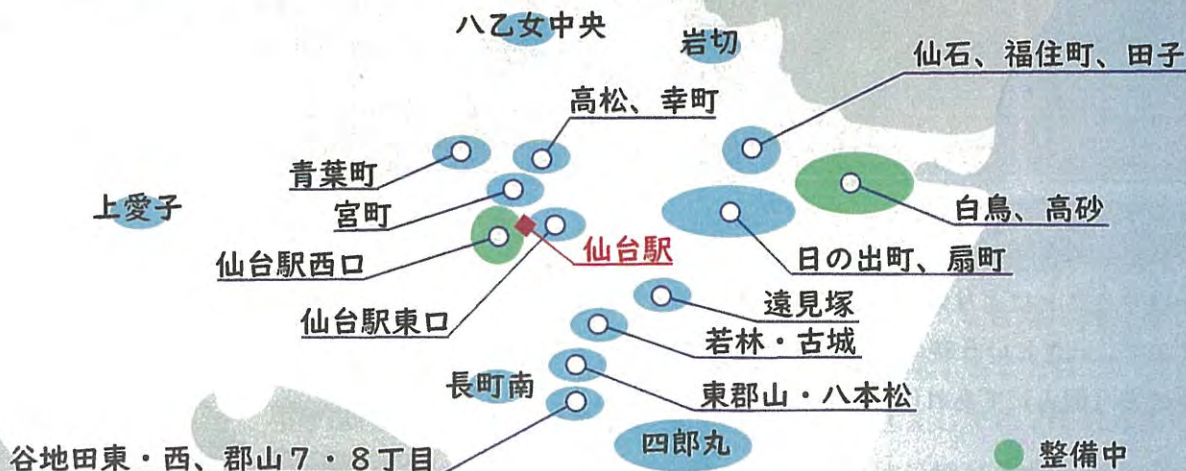
予算等審査特別委員会  
該当質疑  
動画



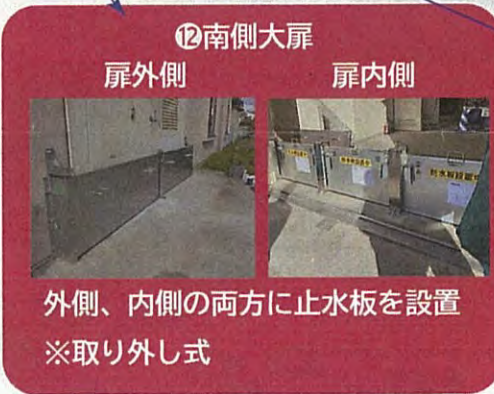
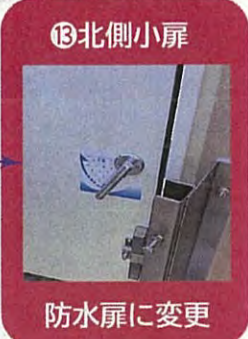
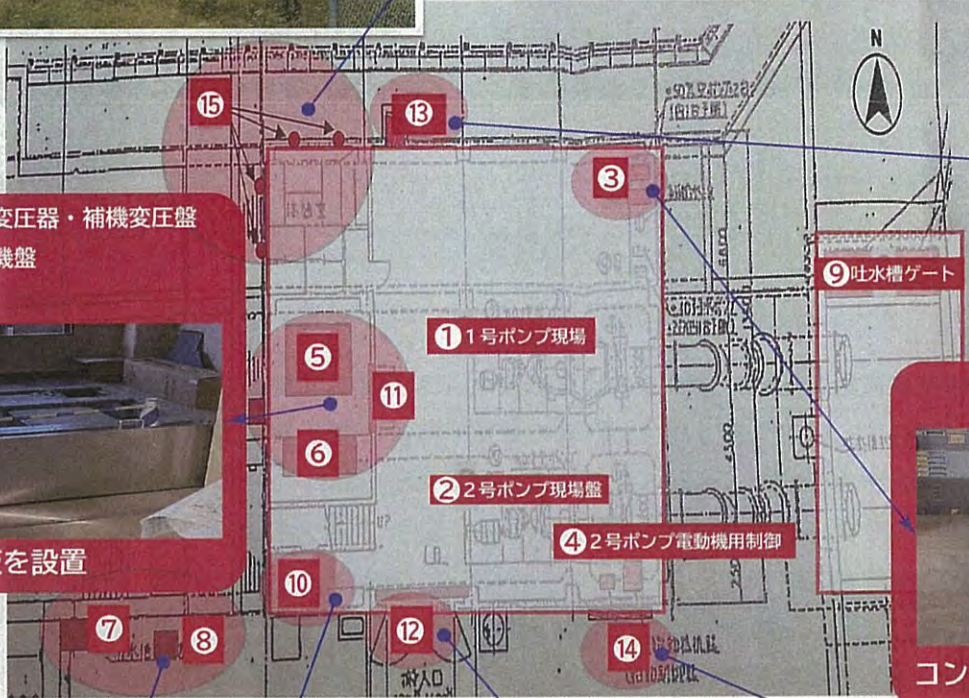
優先的に浸水対策を行う地区について

4月21日 都市整備委員会

これまでの大雨等で特に床上浸水等の被害が大きく、今後も被害が想定される17地区が選定されました。今後、この17地区が他地区よりも優先的に抜本的な対策、もしくはスポット対策が実施されることとなります。



令和元年東日本台風により、電気室が浸水し高圧受電盤がショートし停電が発生したことにより機能不全となった田子排水機場が、令和3年3月末で全ての浸水対策が完了しました。



土のうステーションの拡充について 高砂市民センター、新田4丁目開設のご報告

仙台市では、設置することにより浸水被害を軽減することができる『土のう』の配布を行っておりますので、いざという時のために「土のうステーション」をご活用ください。仙台市にお住まいの方（個人）であれば、どなたでもご利用いただけます。

4月1日より新たに高砂市民センター、新田4丁目（新田東大橋高架下）等3箇所が開設され、市内14箇所でご利用できます。（詳しくは仙台市ホームページをご覧ください）



問 この法律に基づいて4月13日に改良すべき踏切として全国93か所指定されておりましたが、そのうち、仙台市で指定された踏切と、指定された経緯について伺います。

(道路計画課) この法律は踏切の改良を促進することで交通事故の防止、交通の円滑化に寄与することを目的に制定されまして、今回、新たに指定された踏切は宮城野区中野の神明踏切の1か所でございます。経緯は、地元の要望や本市の踏切通行の安全性に対する課題認識を踏まえ、鉄道事業者と踏切改良の方向性について協議してきましたが、おおむね合意したことから令和3年1月に申請を行い今回指定がされたということでございます。

問 このJR仙石線の陸前高砂駅と中野栄駅間の神明踏切と踏切の周辺整備は約10年前から改善の要望がございましたが、法律で指定されたことで、この神明踏切に対してどのような効果があるのか伺います。

(道路計画課) 先ず鉄道事業者(JR)との調整が円滑にすすむことが期待できるとともに、国の補助制度の活用が可能になるなど事業の進捗推進が図られます。また、国土交通省が作成する踏切安全通行カルテが公表されまして事業の進捗に応じた見える化がはかれるといった効果もございます。



神明踏切は仙石線、陸前高砂駅  
中野栄駅間にあります。

問 この神明踏切について、この周辺地域からどのようなお声があるのか、現状の認識を伺います。

(宮城野区道路課) 神明踏切がございます市道中野寺前北上線は指定通学路になっております。国道45号から神明踏切迄の区間には歩道がないこと。通過する車両が多いということから、児童生徒をはじめ歩行者が安全安心に利用できるよう、市道の拡幅についてのご要望を地域懇談会等で頂いており、宮城野区といたしましても歩道整備が必要な路線として認識しているところでございます。

問 今回の、改正踏切道改良促進法に指定されますと、5年以内には改良計画の提出が義務付けられていると聞いておりますので、遅くとも、5年以内には、この神明踏切についても改良計画の提出がされることとなりますが、指定された以上、5年以内とはいわず、今年度中にも具体的な計画と合わせて国に補助金を申請して速やかに工事着手の流れを作って頂きたいと思っております。そこで、この踏切に対する今に至るまでの対応と、今後、どのように改善する予定なのか、スケジュールを含めお示しください。

(宮城野区道路課) この踏切の安全対策につきましてはJR東日本と多年度より協議を進めてまいりました。昨年度、踏切を含む、現在の市道を拡幅整備することにつきましてJRと合意に達したところでございます。それに伴いまして昨年度より踏切の拡幅にあわせまして歩道整備することについての測量設計業務をすすめているところでございます。具体的なスケジュールにつきましてはJR東日本等との整備計画内容の協議の中で検討してまいりますが、宮城野区といたしましては早期に安全安心な歩行者の通行が確保できるように鋭意取り組んでまいります。

問 地域を絞った浸水対策については、先日の予算等審査特別委員会でも質疑をさせていただきました。まずは、**白鳥・高砂地区**に対する整備、これは**福室**も含めた対策ですが、すでに抜本的な対策が整備中となっている地区とされております。要は仙台港に排水する西原雨水ポンプ場の増設整備が進行中で、その完成を**令和9年度中を目標に整備**するとのことです。

一方で、**仙石、福住町、田子**の冠水対策でございますけれども、この地区の対策として、以前より東北学院中学校・高校の東側に小鶴雨水ポンプ場の建設予定がございましたが、具体的な事業化には至っていない状況と先日の予算等審査特別委員会においてご答弁を頂いております。仮に事業化するとなると長い期間と多額の費用がかかるということですので、早期に着手して頂きたいと思うが。

(下水道計画課) ご指摘ございました**仙石、福住町、田子地区**につきましては、抜本的な対策につきましては、小鶴雨水ポンプ場も含めまして、最も効果的、効率的な整備手法を検討して**令和7年度中には計画の策定**を行うことを考えているところでございます。

問 今回指定された地域については、抜本的な整備が終了するまでは他の地区より優先的に排水施設の整備点検等を行っていただきたい。また、これらの水害常習地域においても、側溝に土砂が堆積している状況が見受けられます。この整備対象地区については、管理点検を特別扱いで優先的に取り組んでいただきたいが対応して頂けるか。

(下水道調整課) 今回の優先地区と定めた地域におけるの点検や側溝の清掃等の管理でございますが、側溝の詰まり等は現地を確認しながら必要な箇所は対応しておりますが、頻繁に冠水している箇所、そのような場所を中心にパトロールや大雨が降る時期を前に点検するとか、そのような形で対応してまいりたいと思います。今後とも優先地区を意識し浸水被害の軽減に適切に維持管理に努めたいと思います。

やっとスケジュールが具体化し解決の兆しがみえてきました。今後は1年でも早く改善するよう取り組む必要がございます。

～宮城野区東部地区の現時点の浸水対策見込み～

